

報告事項 1. 2015年度事業報告

I 会員の異動状況

(2016年3月31日現在)

1. 会員の異動状況	前年度末	入会・就任	退会	物故者	現在数
(1) 正会員	25,955 名	725 名	635 名	56 名	25,989 名
(1の内) 名誉会員	39 名	1 名	0 名	1 名	39 名
(1の内) 特別会員	45 名	6 名	0 名	2 名	49 名
(1の内) 国際名誉会員	32 名	6 名	0 名	0 名	38 名
(2) 準会員	280 名	221 名	24 名	1 名	476 名
(3) 賛助会員(法人)	67 名	0 名	2 名	—	65 名

2. 役員・職員の異動	前年度末	入会・就任	退会	物故者	現在数
(1) 理事	30 名	0 名	0 名	0 名	30 名
(2) 監事	2 名	0 名	0 名	0 名	2 名
(3) 幹事	21 名	2 名	1 名	0 名	22 名
(4) 社員	280 名	283 名	280 名	0 名	283 名
(5) 事務局職員	19 名	3 名	1 名	0 名	21 名

3. 国際名誉会員

Piero Anversa (USA)	Tsui-Lieh Hsu (Taiwan)	John Ross Jr (USA)
Jong-Hoa Bae (Korea)	David T Kelly (Australia)	Patrick W. Serruys (Netherlands)
Eugene Braunwald (USA)	Sam-Soo Kim (Korea)	Pravin M. Shah (USA)
A. John Camm (UK)	Spencer B. King, III (USA)	Shahryar A Sheikh (Pakistan)
Jay N. Cohn (USA)	Michel Komajda (France)	Sidney C. Smith, Jr (USA)
Anthony N. DeMaria (USA)	Peter Libby (USA)	Karl Swedberg (Sweden)
Victor J. Dzau (USA)	Thomas F. Luscher (Switzerland)	A.Jamil Tajik (USA)
Murray Esler (Australia)	Giuseppe Mancina (Italy)	Stephen F. Vatner (USA)
Harvey Feigenbaum (USA)	William John McKenna (UK)	Finn Waagstein (Sweden)
Roberto Ferrari (Italy)	Steven E. Nissen (USA)	James T Willerson III (USA)
Kim Fox (UK)	Ock-Kyu Park (KOREA)	Huo Yong (China)
Valentin Fuster (USA)	Seung-Jung Park (Korea)	Salim Yusuf (USA)
Peter Ganz (USA)	Young-Bae Park (Korea)	

4. 物故会員(敬称略)

(1) 名誉会員	安田 寿一					
(2) 特別会員	大国 真彦	梶原 長雄				
(3) 一般会員	安里 浩亮	神戸 忠	瀬底 正司	中山 茂穂	光藤 和明	
	飯嶋 義浩	岸本 道太	妹尾 嘉昌	新村 進	村岡 登	
	飯田 喜俊	木村 熙	祖父江 晃	西 裕太郎	森永 堯	
	石澤 瞭	紅露 恒男	高木 高臣	二宮 健次	八巻 重雄	
	石田 恵一	小暮 正彦	田代 宏徳	沼野 和彦	山田 隆康	
	梅田 研	近藤 宣雄	田中 勸	子島 潤		
	大島 永久	齋藤 守	種市 良博	野口 正治		
	岡本 洋子	坂口 明	寺田 龍也	林 直彦		
	岡本 良夫	佐藤 信	当真 嗣勇	廣瀬 邦彦		
	小田 政行	佐藤 泰雄	中澤 博江	藤井奈保子		
	加藤 健一	鈴木 康正	中島 光好	松本 芳彬		
	加藤 隆弘	首藤 裕	中村 徹	三浦 順子		

II 会議の事項

(1) 第79回社員総会	: 2015年6月26日	東京都	・ J Pタワー ホール&カンファレンス
(2) 理事会	: 2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年9月11日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2015年12月4日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年3月17日	宮城県	・ ウエスティンホテル仙台
(3) 総務委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年9月11日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2015年12月4日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年3月17日	宮城県	・ ウエスティンホテル仙台
(4) 財務委員会・監査会	: 2015年6月2日	東京都	・ 日本循環器学会事務所
	2015年8月27日	東京都	・ 日本循環器学会事務所
	2015年11月24日	東京都	・ 日本循環器学会事務所
	2016年3月1日	東京都	・ 日本循環器学会事務所
(5) 予算委員会	: 2015年11月5日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(6) 編集委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年9月11日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2015年12月4日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年3月17日	宮城県	・ ウエスティンホテル仙台
(7) 学術委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年9月11日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2015年12月4日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年3月17日	宮城県	・ ウエスティンホテル仙台
・ 成人先天性心疾患部会	2015年4月24日	大阪府	・ 大阪国際会議場
	2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年9月19日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
	2015年12月3日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2016年3月18日	宮城県	・ ウエスティンホテル仙台
(8) ガイドライン委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年9月11日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2015年12月4日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年3月17日	宮城県	・ ウエスティンホテル仙台
(9) IT/Database委員会	: 2015年5月21日	大阪府	・ 国立循環器病研究センター
	2015年8月24日	大阪府	・ 国立循環器病研究センター
	2015年9月11日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2015年10月21日	大阪府	・ インターコンチネンタルホテル大阪
	2015年12月4日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年3月17日	宮城県	・ ウエスティンホテル仙台
(10) 専門医制度委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年9月11日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2015年12月4日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年3月17日	宮城県	・ ウエスティンホテル仙台
・ 専門医編集委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
・ 専門医実務委員会	2015年4月5日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2015年4月12日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2016年2月20日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
・ 認定試験委員会(専門医試験合否判定)	2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年9月11日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2015年9月18日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
・ 新専門医制度検討・構築委員会 (新専門医制度検討WG)	2015年9月19日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
	2015年10月24日	大阪府	・ グランフロント大阪
	2015年11月29日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(11) 教育研修委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年9月11日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2015年12月4日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年3月17日	宮城県	・ ウエスティンホテル仙台
(12) 学術集会運営委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京
	2015年9月11日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2015年12月4日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年3月17日	宮城県	・ ウエスティンホテル仙台
(13) 学術集会プログラム委員会	: 2015年9月19日	神奈川県	・ パシフィコ横浜
	2015年11月22日	東京都	・ コングレスクエア日本橋
(14) 国際交流委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ ステーションコンファレンス東京

		2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
(15)	心臓移植委員会	: 2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
	・実施設小委員会	: 2015年4月25日	大阪府	・大阪国際会議場
		2015年9月19日	神奈川県	・パシフィコ横浜
(16)	健保対策委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
(17)	医療安全委員会	: 2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
(18)	倫理委員会	: 2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
	・医療倫理委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
	・研究倫理審査委員会	(開催無し)		
	倫理・医道合同委員会	: 2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
(19)	医道委員会	: (開催無し)		
(20)	利益相反委員会	: 2015年6月5日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
(21)	情報広報委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
(22)	チーム医療委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
	・プログラム部会	: 2015年5月28日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2015年11月20日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(23)	男女共同参画委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
(24)	循環器救急医療委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
	・蘇生教育小委員会	: 2016年2月27日	東京都	・帝京大学霞が関キャンパス
	・蘇生科学小委員会	: 2015年4月23日	大阪府	・都島センタービル
		2016年3月18日	宮城県	・仙台市民会館
	・AED検討委員会	: 2015年6月17日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2015年10月20日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	・循環器救急医療制度小委員会	(開催無し)		
(25)	禁煙推進委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
(26)	予防委員会	: 2015年7月18日	福岡県	・福岡国際会議場
		2015年9月10日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2015年12月3日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
		2016年3月18日	宮城県	・仙台国際ホテル
(27)	国内交流委員会	: 2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
(28)	用語委員会	: 2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台
(29)	事務局あり方検討委員会	: 2015年6月5日	東京都	・ステーションコンファレンス東京
		2015年9月11日	東京都	・東京国際フォーラム
		2015年12月4日	東京都	・東京国際フォーラム
		2016年3月17日	宮城県	・ウエスティンホテル仙台

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

①研究会・学術講演会の開催事業

1. 第79回日本循環器学会学術集会 (JCS2015)

(1) 会期：2015年4月24日(金)～4月26日(日)

会長：小川 久雄

(熊本大学循環器内科学/

国立循環器病研究センター)

会場：中之島会場, グランフロント大阪会場

(大阪府)

メインテーマ：日本発-最新の循環器病学

Late-breaking Cardiovascular Medicine

From Japan

・一般演題

(口述, ポスター, Featured Research Session)

・美甘レクチャー：Paul M. Ridker

(Brigham and Women's Hospital, Harvard

Medical School, USA)

・真下記念講演：寒川 賢治

(国立循環器病研究センター)

・特別講演

・会長講演：小川 久雄

(熊本大学循環器内科学/

国立循環器病研究センター)

・プレナリーセッション

・シンポジウム

・会長特別企画

血管機能および循環障害から見た冠動脈疾患の
治療戦略

循環器疾患における先制医療：新しい画像診断
とバイオマーカーの応用

大規模レジストリーの将来展望

本邦における新規抗血栓薬の新展開

糖尿病合併の冠動脈疾患に対する治療戦略

不整脈治療に対するアブレーションの進歩

日本循環器学会創立80周年記念企画

日本発一循環器治療の歴史

エピゲノムと循環器疾患

発生と循環器疾患

日本人の血栓性素因

循環器疾患におけるデータマネージングの重要
性

日本における心臓移植の歴史と今後の課題

・ジョイントシンポジウム

(AHA, ACC, ESC, CSC, KSC, Asia)

・ラウンドテーブルディスカッション

・トピック

・コントロバーシー

・ミーティング・ザ・エキスパート

・モーニングレクチャー

・Late Breaking Clinical Trials

・Late Breaking Cohort Studies

・第43回循環器教育セッション

・日本心臓財団佐藤賞記念講演

・審査講演会

YIA Clinical research部門審査講演

YIA Basic research部門審査講演

国際留学生YIA 審査講演

第5回コメディカル賞審査講演会

・ガイドラインに学ぶ

・ガイドライン解説, ステートメント解説

・第11回心臓移植セミナー

・保険医療セミナー

・第5回海外留学生セミナー

・第14回医療安全・医療倫理に関する講演会

・研究倫理と研究指導のあり方

・第14回禁煙推進セミナー

・日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

・第5回男女共同参画委員会セッション

・Circulation Journal Award Session

・チーム医療セッション

・市民公開講座

知って得する心臓病の知識

第13回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座

・サテライトセミナー(プレセミナー, ランチ
オンセミナー, ファイアサイドセミナー)

・機器・書籍展示

(2) プレレジストレーション

学会独自のシステムを構築し, 国内の参加者向け
に, 参加登録, 教育セッション, プレセミナー・
ランチオンセミナー・ファイアサイドセミナーの
プレレジストレーションをオンライン上で行っ
た.

(3) 印刷物・製作物

第79回学術集会関連の印刷物・制作物として, 抄
録CD, プログラム集, 電子抄録アプリ, 教育セ
ッションテキスト(循環器専門医Vol.22 Supple-
ment2015), 企業展示ガイドブック, ピンバッジ,
英文パンフレットを作成した.

(4) My Abstracts

抄録CDに掲載されている演題・チーム医療セッ
ション・共催セミナー抄録を検索し, 必要な演題
の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表
が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行
った.

(5) トラベル grant

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者に
トラベル grantを支給した. 支給金額は中国,
香港, 台湾, 韓国は5万円, その他の国は10万円
とした.

(6) 発表データプレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで
事前アップロードするための「発表データプレ
エントリーシステム」を公開した.

(7) 託児室

学術集会会期中に参加者に対して無料託児室を設

置した。英語対応も可能とした。

(8) 各種サービス

全講演会場および休憩コーナーにて利用できる無料無線LANサービスを行った。救護室やAEDの設置を行った。

(9) 学会賞

・第40回日本心臓財団佐藤賞

選考委員長

小川 久雄 (熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学/国立循環器病研究センター)

受賞者

赤澤 宏 (東京大学大学院医学系研究科循環器内科学)

心血管系におけるストレス応答と疾患形成の分子機序

・第32回Young Investigator's Award

Clinical research部門

選考委員長

下川 宏明 (東北大学循環器内科学)

受賞者

最優秀賞:

神谷 千津子 (独立行政法人国立循環器病研究センター周産期・婦人科)

Effects of Anti-prolactin Therapy and Prolactin Fragment Values in Patients with Peripartum Cardiomyopathy

~ Results From a Nationwide Prospective Study on Peripartum Cardiomyopathy in Japan ~

優秀賞:

今村 輝彦 (東京大学重症心不全治療開発講座)

Aortic Insufficiency Develops in Non-Responders to Beta-Blocker Treatment Accompanied by Worse Quality of Life after Axial Flow Left Ventricular Assist Device Implantation

優秀賞:

小保方 優 (群馬大学大学院医学系研究科臓器病態内科学)

Early Increase in Circulating Fatty Acid Binding Protein 4 Levels in Patients with Acute Myocardial Infarction: Lipolysis as a novel marker for myocardial ischemia

優秀賞:

佐竹 洋之 (東北大学循環器内科学分野)

Current Status of Primary Prevention of Sudden Cardiac Death with Implantable Cardioverter-Defibrillator in Patients with Chronic Heart Failure -A Report From the CHART-2 Study-

Basic research部門

選考委員長

下川 宏明 (東北大学循環器内科学)

受賞者

最優秀賞:

林 隆治 (大阪大学循環器内科)

Identification of Higdla as a Therapeutic Target for Mitochondrial Disease via Activation of Cytochrome c Oxidase

優秀賞:

白川 公亮 (慶應義塾大学循環器内科)

Amelioration of adipose inflammation and insulin resistance in aged and diet-induced obese mice by targeting programmed death 1+adipose T cells

優秀賞:

舟越 俊介 (京都大学医学部医学科循環器内科学)

Enhanced engraftment, proliferation, and therapeutic potential using optimized human iPSC-derived cardiomyocytes

優秀賞:

三木 健嗣 (京都大学iPS細胞研究所初期化機構研究部門)

Synthetic mRNA switches for detection and purification of cardiomyocytes and endothelial cells derived from human pluripotent stem cells

・第23回CPIS賞

選考委員長

萩原 誠久 (東京女子医科大学循環器内科)

受賞者

今村 輝彦 (東京大学重症心不全治療開発講座)

Increased Urine Aquaporin- 2 Levels Relative to Plasma Arginine Vasopressin is a Novel Marker of Response to Tolvaptan in Patients with Decompensated Heart Failure

・第13回国際留学生Young Investigator's Award

選考委員長

小室 一成 (東京大学循環器内科学)

受賞者

最優秀賞:

燕 翼 (大阪大学医学部附属病院研究科医科学講座)

Enhanced AMPK activity inhibits vascular smooth muscle cell migration by phosphorylation of the novel substrate Pdlim5

優秀賞:

Ahmed Talib (筑波大学循環器内科)

Repolarization characteristics in Early repolarization and Brugada syndromes: insight into an overlapping mechanism of sudden cardiac death

- 優秀賞：
 蘭 貝滯（東京女子医科大学病院
 循環器小児科）
 Therapeutic Efficacy of Valproic Acid in a
 Combined Monocrotaline and Chronic
 Hypoxia Rat Model of Severe Pulmonary
 Hypertention
 優秀賞：
 Maryam Zaid（滋賀医科大学附属病院
 Public Health）
 The Association of High-density
 Lipoprotein Particle Concentration with
 Subclinical Atherosclerosis of the Carotid
 Arteries in Japanese Men
 優秀賞：
 MD. Elias Almamun
 （東北大学病院循環器内科学分野）
 Combination Therapy with Fasudil and
 Sildenafil Ameliorates Monocrotaline-
 induced Pulmonary Hypertension through
 Synergistic Inhibition of Rho-kinase
 ・第10回心臓血管外科賞
 選考委員長
 澤 芳樹（大阪大学心臓血管外科学）
 受賞者
 渡辺 芳樹（大阪大学心臓血管外科）
 Development of a Prostacyclin-agonist-eluting
 Aortic Stent Graft Enhancing Biological
 Attachment to the Aortic Wall
 ・第10回小児循環器賞
 選考委員長
 市田 蒔子（富山大学小児科）
 受賞者
 岡本 亜希子（京都府立医科大学小児循環
 器・腎臓科）
 The Involvement of the Vasa Vasorum in
 the Development of Vasculitis in Animal
 Model of Kawasaki Disease
 ・第9回循環器再生医科学賞
 選考委員長
 小室 一成（東京大学循環器内科学）
 基礎研究部門
 受賞者
 菊地 良介（名古屋大学医療技術部 臨床
 検査部門）
 An Anti-angiogenic Isoform of VEGF-A
 Contributes to Impaired Vascularization in
 Peripheral Artery Disease
 ・第8回女性研究者奨励賞
 選考委員長
 代田 浩之（順天堂大学循環器内科学）
 受賞者
 長谷川 奏恵（新潟県厚生農業協同組合連
 合会柏崎総合医療センター
 内科）
 A novel KCNQ 1 Missense Mutation Ident-
 ified in a Patient with Juvenile-onset Atrial
 Fibrillation Causes Constitutively Open IKs
 Channels
 ・第4回循環器臨床研究奨励賞
 選考委員長
 永井 良三（自治医科大学）
 受賞者
 臨床研究部門
 片岡 雅晴（慶應義塾大学循環器内科）
 経皮的肺動脈形成術の開発と発展 -日本から
 世界へ発信する新規カテーテル治療-
 症例報告部門
 最優秀賞：
 鈴木 秀明（東北大学循環器内科学）
 Evidence for Brain Activation in Patients
 With Takotsubo Cardiomyopathy
 優秀賞：
 大野 洋平（東海大学循環器内科学）
 Acute Left Atrial Spontaneous Echocardi-
 ographic Contrast and Suspicious Thrombus
 Formation Following Mitral Regurgitation
 Reduction with The MitraClip System
 優秀賞：
 田畑 範明（熊本大学循環器内科学）
 A Case of Human Immunodeficiency Virus-
 related Heart Failure Resembling Dilated
 Cardiomyopathy but Accompanied by High
 Cardiac Output
 ・第2回循環器イメージング賞
 選考委員長
 増山 理（兵庫医科大学循環器内科）
 受賞者
 最優秀賞：
 原 哲也（神戸大学循環器内科学）
 18F-Fluorodeoxyglucose Positron Emission
 Tomography/Computed Tomography En-
 ables the Detection of Recurrent Same-Site
 Deep Vein Thrombosis by Illuminating Re-
 cently Formed, Neutrophil-Rich Thrombus
 優秀賞：
 柴山 謙太郎（東京ベイ・浦安市川医療セ
 ンター循環器内科）
 Effect of Transcatheter Aortic Valve Re-
 placement on the Mitral Valve Apparatus
 and Mitral Regurgitation: Real-Time Three
 Dimensional Transesophageal Echocardi-
 ography Study
 優秀賞：
 楠瀬 賢也（徳島大学循環器内科）
 Decision Making in Asymptomatic Aortic

Regurgitation in the Era of Guidelines: Incremental Values of Resting and Exercise Cardiac Dysfunction

・第5回コメディカル賞

選考委員長

山岸 正和 (金沢大学循環器内科)

受賞者

部門A

最優秀賞:

長沼 美代子 (東京女子医科大学病院臨床研究支援センター)

心房細動に対する抗凝固療法の有用性と忍容性に及ぼす腎機能の検討～新規経口抗凝固薬とワルファリンとの比較～

優秀賞:

小川 浩司 (国立循環器病研究センター臨床工学部)

家族性高コレステロール血症 (FH) 合併妊娠患者に対する Management - LDL Apheresis を中心とした脂質管理 -

優秀賞:

岩本 菜帆 (大阪大学医学部附属病院看護部)

経カテーテル的大動脈弁植込み術対象患者の術前術後のADLの検討

部門B

最優秀賞:

田中 伸弥 (北里大学医療系研究科)

慢性心不全患者に合併する末梢動脈疾患は無症候性であっても運動耐容能を低下させる

優秀賞:

室屋 英人 (指宿医療センター放射線科)

肺高血圧症領域における Dual energy CT の有用性

優秀賞:

今井 康之 (医療法人社団誠馨会新東京病院)

術前CTによるTAVI施行時におけるペーサルリング真側面の角度 (perpendicular view) の算出精度～Aortagraphyと比較して～

部門C

最優秀賞:

齋藤 洋 (亀田総合病院リハビリテーション室)

高齢心不全症例に対する認知機能低下と予後の検討

優秀賞:

山岡 真奈美 (喜多医師会病院循環器病棟)

ペースメーカー関連術後せん妄のリスク因子の検討

優秀賞:

嶋田 清香 (国立病院機構京都医療センタ

ー展開医療研究部)

禁煙成功者における血清SAA-LDL, AT-LDLレベルの経時的変化の検討

分野D

最優秀賞:

安井 謙司 (札幌医科大学附属病院検査部)

ドプラ心エコー法で求めた肺血管抵抗指標による間質性肺炎例の予後予測

優秀賞:

重永 裕 (兵庫県立姫路循環器病センター検査放射線部)

左房遅延造影MRIと造影MRAの統合画像の作成-心房細動再発症例に対する2nd ablationの治療支援-

優秀賞:

倉田 直哉 (JA三重厚生連松阪中央総合病院CE部)

iFR (瞬時血流予備量比) が Gray zone となる病変の検討 - FFR (冠血流予備量比) に基づいた虚血評価をもとに -

・Circulation Journal Awards for Volume 78, 2014

選考委員長

下川 宏明 (東北大学循環器内科学)

受賞者

Clinical Investigation部門

最優秀賞:

八巻 重雄 (日本肺血管研究所)

Histopathological Examination by Lung Biopsy for the Evaluation of Operability and Postoperative Prognosis in Patients With Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension (Circ J. 2014;78:476-482)

優秀賞:

二瓶 太郎 (東北大学循環器内科学)

Circadian Variation of Rho-Kinase Activity in Circulating Leukocytes of Patients With Vasospastic Angina (Circ J. 2014;78:1183-1190)

Experimental Investigation部門

最優秀賞:

熊澤 あず美 (浜松医科大学内科学第三講座)

Microtubule Disorganization Affects the Mitochondrial Permeability Transition Pore in Cardiac Myocytes (Circ J. 2014;78:1206-1215)

最優秀賞:

Donghong Zhang (Peking Union Medical College Hospital, China)

DNA Methylation of Human Telomerase Reverse Transcriptase Associated With Leukocyte Telomere Length Shortening in

Hyperhomocysteinemia-Type Hypertension in Humans and in a Rat Model (Circ J.2014;78:1915-1923)

Best Reviewers of the Year 2014

浅沼 博司(京都府立医科大学先進循環器病治療学)

関 庚徳(国立循環器病研究センター臨床研究部・細胞生物学部)

藤木 明(静岡赤十字病院循環器科)

塚本 蔵(大阪大学医化学講座)

絹川 弘一郎(東京大学重症心不全治療開発講座)

真田 昌爾(厚生労働省医政局研究開発振興課)

藤井 健一(兵庫医科大学循環器内科)

山本 一博(鳥取大学病態情報内科学)

大北 裕(神戸大学心臓血管外科分野)

小山 崇(秋田大学循環器内科)

石原 正治(兵庫医科大学内科学講座冠疾患科)

庭野 慎一(北里大学循環器内科学)

草野 研吾(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

弘瀬 雅教(岩手医科大学薬学部分子細胞薬理学講座)

池田 隆徳(東邦大学内科学講座循環器内科学分野)

野上 昭彦(筑波大学医学医療系循環器不整脈学)

阿古 潤哉(北里大学循環器内科学)

高橋 尚彦(大分大学循環器内科・臨床検査診断学座)

森田 啓行(東京大学循環器内科)

古川 哲史(東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理学)

・日本心臓財団・日本循環器学会2014年「心臓」賞選考委員長

山口 徹(虎の門病院)

最優秀賞：

川上 秀生(愛媛県立今治病院循環器内科)
血管内視鏡と光干渉断層法による慢性期のステント評価。一急性冠症候群に使用したベアメタルステントと第2世代薬剤溶出ステントの比較—(心臓2014；46:861-872)

優秀賞：

高木 泰(聖マリアンナ医科大学循環器内科)
心臓核医学検査にて心筋ミトコンドリア機能異常を認めたミトコンドリア脳筋症の1例(心臓2014；46:629-636)

優秀賞：

黒瀬 聖司(関西医科大学健康科学/武田総合病院疾病予防センター)

急性冠症候群患者の軽度狭窄病変に対する心臓リハビリテーションの効果(心臓2014；46:32-39)

2. 第80回日本循環器学会学術集会(JCS2016)

(1) 会期：2016年3月18日(金)～3月20日(日)

会長：下川 宏明

(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

会場：仙台国際センター(会議棟・展示棟)，東北大学百周年記念会館，仙台市民会館(宮城県) せんだい青葉山交流広場特設会場(テント)

メインテーマ：日循80年 日本の循環器病学の過去・現在・未来—東日本大震災復興5周年—

The Past, Present and Future of Cardiovascular Medicine in Japan

—The 5th Anniversary of the Great East Japan Earthquake—

・一般演題

(口述，ポスター，Featured Research Session)

・美甘レクチャー：Paul M. Vanhoutte

(University of Hong Kong, Hong Kong)

・真下記念講演：山本 雅之

(東北大学医化学分野/東北メディカル・メガバンク機構)

・特別講演

・会長講演：下川 宏明

(東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学)

・プレナリーセッション

・シンポジウム

・会長特別企画

3日でマスターする医学統計入門①～③

日本循環器学会80年の歩み—先達からのメッセージ—

我が国の医療機器開発の現状と課題

Editors-in-Chief of the Top Medical Journals

循環器疾患における新規治療標的

心不全パンデミックへの対応

30th Anniversary of NO Research: What Have We Learned and Where to Go

循環器疾患に対する低侵襲性治療の開発

日米の医学教育を考える

日本が誇る循環器研究 I・II

「久山町研究」「冠動脈攣縮」「Na利尿ペプチド」

日本が誇る循環器研究 II

「川崎病」「高安病(大動脈炎症候群)」「たこつぼ心筋症」

Importance of Coronary Microvascular Dysfunction in Cardiovascular Medicine

大規模災害と心血管病

The Year in Cardiology—the EHJ Perspective

IT が拓く近未来の循環器医療

重要性を増すCardio-Oncology

・ジョイントシンポジウム

(AHA, ACC, ESC, CSC, Asian Session)

・ラウンドテーブルディスカッション

・トピック

- ・コントローバーシー
 - ・ミート・ザ・エキスパート
 - ・モーニングレクチャー
 - ・Late Breaking Clinical Trials※
 - ・Late Breaking Cohort Studies※
 - ※各演題にコメンテーターを設けた。またプレスカンファレンスが発表前日に行われた。
 - ・第44回循環器教育セッション
 - ・日本心臓財団佐藤賞記念講演
 - ・審査講演会
 - YIA Clinical research部門審査講演
 - YIA Basic research部門審査講演
 - 国際留学生YIA 審査講演
 - 第6回コメディカル賞審査講演会
 - ・ガイドラインに学ぶ
 - ・ガイドライン解説
 - ・第12回心臓移植セミナー
 - ・保険医療セミナー
 - ・第6回海外留学生セミナー&留学支援助成報告会
 - ・第15回医療安全・医療倫理に関する講演会
 - ・医療・臨床研究における倫理的配慮
 - ・第15回禁煙推進セミナー
 - ・日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
 - ・第6回男女共同参画委員会セッション
 - ・Circulation Journal Award Session
 - ・チーム医療セッション
 - ・市民公開講座
 - わが国の循環器病学の過去・現在・未来ー東日本大震災を経験してー
 - 第14回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座
 - ・サテライトセミナー(ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナー)
 - ・機器・書籍展示
 - ・東北地域の大学病院・地域の基幹病院・医師会・医療行政等の災害医療への貢献や復興に向けた活動に関するパネル展示
- (2) プレレジストレーション
国内の参加者向けに、参加登録、教育セッション、プレセミナー・ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションをオンライン上で行った。
- (3) 印刷物・製作物
第80回学術集会関連の印刷物・制作物として、抄録CD、プログラム集、電子抄録アプリ、教育セッションテキスト、企業展示ガイドブック、ピンバッジ、英文パンフレットを作成した。
- (4) My Abstracts
抄録CDに掲載されている演題・チーム医療セッション・共催セミナー抄録を検索し、必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行った。
- (5) トラベルグラント
海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給した。支給金額は中国、香港、台湾、韓国は5万円、その他の国は10万円とした。
- (6) 発表データプレエントリー
学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「発表データプレエントリーシステム」を公開した。
- (7) 託児室
学術集会会期中に参加者に対して無料託児室を設置した。英語対応も可能とした。
- (8) 各種サービス
全講演会場および休憩コーナーにて利用できる無料無線LANサービスを行った。救護室やAEDの設置を行った。3会場間を結ぶ手段として、随時シャトルバスやシャトルタクシーの運行を行った。
- (9) 学会賞
- ・第41回日本心臓財団佐藤賞
選考委員長
下川 宏明(東北大学循環器内科学)
受賞者
家田 真樹(慶應義塾大学循環器内科)
心臓発生メカニズム解明と新しい心筋再生法の開発
 - ・第33回Young Investigator's Award
Clinical research部門
選考委員長
山岸 正和(金沢大学循環器内科)
受賞者
最優秀賞：
山田 憲明(大阪大学循環器内科学)
Kir3.1 Channel Mutation, a Novel Therapeutic Target for Familial Sinus Bradycardia and Atrial Fibrillation
優秀賞：
鈴木 秀明(東北大学循環器内科)
Hippocampus Abnormalities Are Associated with Depressive Symptoms and Cognitive Impairment in Patients with Chronic Heart Failure
優秀賞：
永井 利幸(国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門)
Prognostic Significance of Endogenous Erythropoietin in Long-Term Outcome of Patients with Acute Decompensated Heart Failure
優秀賞：
西宮 健介(東北大学循環器内科学)
Enhanced Adventitial Vasa Vasorum Formation in Patients with Vasospastic

Angina -Assessment with Optical
Frequency Domain Imaging-

Basic research部門

選考委員長

山岸 正和(金沢大学循環器内科)

受賞者

最優秀賞:

肥後 友彰(大阪大学循環器内科)

DNA Single-Strand Break-Induced DNA
Damage Response Causes Heart Failure

優秀賞:

神戸 茂雄(東北大学循環器内科学)

Disruption of Physiological Balance Between
Nitric Oxide and Endothelium-Dependent
Hyperpolarization Impairs Cardiovascular
Homeostasis in Mice

優秀賞:

降旗 高明(北海道大学循環病態内科学)
mitoNEET Regulates Mitochondrial Iron
Homeostasis in the Hearts

優秀賞:

増村 雄喜(大阪大学循環器内科学)

Single Cell Imaging Analysis Clarifies
RNA Quantity Control Mechanism in
Cardiomyocytes

・第24回CPIS賞

選考委員長

筒井 裕之(北海道大学循環病態内科学)

受賞者

荒木 智(熊本大学循環器内科学)

Sirt7 Contributes to Myocardial Tissue Re-
pair by Maintaining Transforming Growth
Factor- β Signaling Pathway.

・第14回国際留学生Young Investigator's
Award

選考委員長

小室 一成(東京大学循環器内科学)

受賞者

最優秀賞:

Dhite Bayu Nugroho(神戸大学循環器内科
学)

A Novel Angiogenic Adipokine Neuregulin-4
Preserves Metabolic Homeostasis by Regu-
lating Adipose Tissue Angiogenesis

優秀賞:

逢 暁玲(滋賀医科大学 分子病態生化学)

A Novel Therapeutic Role of Dipeptidyl
Peptidase III in the Treatment of Hyperten-
sion

優秀賞:

呉 宏憲(名古屋大学循環器内科学)

Cathepsin S Activity Controls Injury-Related

Vascular Repair in Mice via the p38MAPK
and PI3K-Akt/p-HDAC6 Signaling Pathway

優秀賞:

Nishant Mittal(慶應義塾大学循環器内科)

Versican Is Essential for Closed

Cardiovascular System.

優秀賞:

Endang Mahati(鳥取大学再生医療学)

Muscarinic Receptor Activation Leads to
Phosphorylation of HSF1 and
Stabilization of Mutant hERG Protein

・第11回心臓血管外科賞

選考委員長

横山 斉(福島県立医科大学心臓血管外科学)

受賞者

奥山 和明(豊見城中央病院 循環器内科)

Alternative Access for Balloon-Expandable
Transcatheter Aortic Valve Replacement:
Comparison of the Transaortic Approach
Using Right Anterior Thoracotomy to Par-
tial J-Sternotomy

・第11回小児循環器賞

選考委員長

市田 蒔子(富山大学小児科)

受賞者

齋木 宏文(メイヨークリニック
循環不全研究室)

Ventricular-Arterial Function and
Coupling in the Adult Fontan Circulation

・第10回循環器再生医科学賞

選考委員長

室原 豊明(名古屋大学循環器内科学)

基礎研究部門

受賞者

山川 裕之(慶應義塾大学循環器内科)

Stem Cell Reports Fibroblast Growth
Factors and Vascular Endothelial Growth
Factor Promote Cardiac Reprogramming
Under Defined Conditions

臨床研究部門

受賞者

今村 輝彦(東京大学重症心不全治
療講座)

Improved Clinical Course of Autologous
Skeletal Myoblast Sheet (TCD-51073)
Transplantation When Compared to a
Propensity Score-Matched Cardiac
Resynchronization Therapy Population

・第9回女性研究者奨励賞

選考委員長

瀧原 圭子(大阪大学保健センター)

受賞者

渡邊 絵里(東京女子医科大学青山病院)

循環器内科)

Infarct Tissue Heterogeneity by Contrast-Enhanced Magnetic Resonance Imaging Is a Novel Predictor of Mortality in Patients With Chronic Coronary Artery Disease and Left Ventricular Dysfunction

・第5回循環器臨床研究奨励賞

選考委員長

伊藤 浩(岡山大学循環器内科)

受賞者

臨床研究部門

森田 啓行(東京大学循環器内科学)

包括的ゲノム解析データを活用した循環器疾患の診断確定および最適治療選択 ~心筋症、大動脈解離から心筋梗塞まで~

症例報告部門

最優秀賞:

楠瀬 賢也(徳島大学循環器内科)

Serial Imaging Changes During Treatment of Immunoglobulin G4-Related Disease with Multiple Pseudotumors

優秀賞:

今村 輝彦(東京大学重症心不全治療講座)

Biventricular Failure with Low Pulmonary Vascular Resistance Was Managed by Left Ventricular Assist Device Alone Without Right-Sided Mechanical Support

優秀賞:

池田 祐毅(北里大学循環器内科学)

Morphological Changes in Mitochondria During Mechanical Unloading Observed on Electron Microscopy: A Case Report of a Bridge to Complete Recovery in a Patient with Idiopathic Dilated Cardiomyopathy

・第3回循環器イメージング賞

選考委員長

平山 篤志(日本大学循環器内科)

受賞者

最優秀賞:

楠瀬 賢也(徳島大学循環器内科)

Prediction of Future Overt Pulmonary Hypertension by 6-Min Walk Stress Echocardiography in Patients with Connective Tissue Disease

優秀賞:

三原 裕嗣(市立四日市病院循環器内科)

Assessment of Post-Procedural Aortic Regurgitation After TAVR An Intraprocedural TEE Study

優秀賞:

永田 泰史(産業医科大学第2内科学)

Prognostic Value of LV Deformation Parameters Using 2D and 3D Speckle-

Tracking Echocardiography in Asymptomatic Patients with Severe Aortic Stenosis and Preserved LV Ejection Fraction

・第6回コメディカル賞

選考委員長

山岸 正和(金沢大学循環器内科)

受賞者

分野A. 臨床部門

最優秀賞: 該当者なし

優秀賞:

白須 香南子(武蔵野赤十字病院)

家族性高コレステロール血症(FH)合併妊娠患者に対するManagement -LDLApheresisを中心とした脂質管理-

優秀賞:

繁平 和子(国立循環器病研究センター
臨床検査部)

600人規模の遠隔モニタリングにおける業務負担軽減への取り組み~チーム運用とアラート整理について~

優秀賞:

岩崎 進一(むつ総合病院)

事務系病院職員に対するAHA Family & Friends CPR Courseを軸とした心肺蘇生法研修会の効果

分野B. 非薬物治療部門

最優秀賞:

西川 淳一(帝京大学医学部附属病院

心臓リハビリテーションセンター)

経カテーテル大動脈弁植込術後のフレイル進行関連因子についての検討

優秀賞:

上坂 建太(田附興風会医学研究所北野病院)

Frailty要因の術前歩行速度は術後せん妄を合併した歩行自立遅延と関連する

優秀賞:

柳 英利(国立循環器病研究センター

心血管リハビリテーション科)

心不全患者における心臓リハビリテーションの運動耐容能向上効果にCRTデバイス植込は影響するか?

分野C. 検査部門

最優秀賞:

木村 紀子(みなみ野ハートクリニック 検査科)

心筋内脂肪沈着は左室収縮能に関与する

優秀賞:

羽田 里美(鹿児島医療センター 放射線科)

Dual-energy CTを使用した慢性血栓性肺高血圧症患者の肺区域別部分定量評価の有用性

優秀賞:

中田 充(東北大学病院
診療技術部放射線部門)
TAVIのスクリーニング造影CTデータを用いた至適Perpendicular Viewのシミュレーション方法の検討
分野D. 治療部門
最優秀賞：
齋藤 修(新潟大学 保健学研究科)
高周波カテーテルアブレーション治療のステームポップ発症に関係する因子(Bipolar通電の実験的検討)
優秀賞：
梅津 努(筑波大学附属病院)
デバイス外来での専門知識を有する看護師介入の有無による患者満足度の相違調査
優秀賞：
縮 恭一(筑波大学附属病院
医療機器管理センター)
発作性心房細動に対するcryoballoon ablationの治療効果について～クライオバルーンの冷却時間と復温時間についての検討～
・Circulation Journal Awards for Volume 79, 2015
選考委員長
Shimokawa Hiroaki, MD
(*Tohoku University Graduate school of Medicine, Sendai*)
受賞者
Clinical Investigation
【First Place】：
Yoshiki Sawa, MD
(*Osaka University Graduate School of Medicine*)
Safety and Efficacy of Autologous Skeletal Myoblast Sheets (TCD-51073) for the Treatment of Severe Chronic Heart Failure Due to Ischemic Heart Disease (Circ J 2015; 79: 991-999)
【Second Place】：
Kenta Mori, MD, PhD
(*Kobe University Graduate School of Medicine*)
Serum Trans-Fatty Acid Concentration Is Elevated in Young Patients With Coronary Artery Disease in Japan (Circ J 2015; 79: 2017-2025)
Yuko Wada, MD
(*National Cerebral and Cardiovascular Center and Shiga University of Medical Science*)
Clinical and Pathological Impact of Tissue Fibrosis on Lethal Arrhythmic Events in Hypertrophic Cardiomyopathy Patients With Impaired Systolic Function (Circ J

2015; 79: 1733-1741)
Kazuhiro Yamamoto, MD
(*Tottori University*)
Risk Factors for Progression of Degenerative Aortic Valve Disease in the Japanese - The Japanese Aortic Stenosis Study (JASS) Prospective Analysis - (Circ J 2015; 79: 2050-2057)
Experimental Investigation
【First Place】：
Toshinao Takahashi, MD
(*Chiba University Graduate School of Medicine*)
Regeneration of the Cardiac Conduction System by Adipose Tissue-Derived Stem Cells (Circ J 2015; 79: 2703-2712)
【Second Place】：
Nani Maharani, MD
(*Tottori University Graduate School of Medical Science*)
Molecular Mechanisms Underlying Urate-Induced Enhancement of Kv1.5 Channel Expression in HL-1 Atrial Myocytes (Circ J 2015; 79: 2659-2668)
【Asian Award】：
Gongyong Peng, PhD
(*Guangzhou Medical University*)
Chronic Hypoxia Increases Intracellular Ca²⁺ Concentration via Enhanced Ca²⁺ Entry Through Receptor-Operated Ca²⁺ Channels in Pulmonary Venous Smooth Muscle Cells (Circ J 2015; 79: 2058-2068)
【Best Reviewers of the Year 2015】
Osamu Tsukamoto, MD
(*Osaka University Graduate School of Medicine*)
Hiroshi Asanuma, MD
(*Kyoto Prefectural University of Medicine*)
Shinichi Niwano, MD
(*Kitasato University*)
Shoji Sanada, MD
(*Osaka University Graduate School of Medicine*)
Akira Fujiki, MD
(*Shizuoka Heart Rhythm Clinic*)
Kyung-Duk Min, MD
(*National Cerebral and Cardiovascular Center*)
Kazuhiro Yamamoto, MD
(*Tottori University*)
Junya Ako, MD
(*Kitasato University School of Medicine*)
Kenichi Fujii, MD

(Hyogo College of Medicine)

Koichi Inoue, MD

(Sakurabashi Watanabe Hospital)

Hiroyuki Morita, MD

(The University of Tokyo)

Yutaka Okita, MD

(Kobe University)

Masaharu Ishihara, MD

(Hyogo College of Medicine)

Takashi Koyama, MD

(Akita University)

Yoshihiro Seo, MD

(University of Tsukuba)

Nobuyuki Ohte, MD

(Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences)

Takanori Ikeda, MD

(Toho University Faculty of Medicine)

Hideki Ishii, MD

(Nagoya University Graduate School of Medicine)

Koichi Kaikita, MD

(Kumamoto University)

Shinsuke Miyazaki, MD

(Tsuchiura Kyodo Hospital)

・日本心臓財団・日本循環器学会2015年「心臓」賞

選考委員長

山口 徹(虎の門病院)

最優秀賞:

野呂瀬 準(昭和大学臨床病理診断学)

高齢者の心臓におけるATTRアミロイドーシスの臨床病理学的検討

(心臓47巻12号1397-1404)

優秀賞:

大谷 俊人(広島大学循環器内科)

周産期心筋症によるうっ血性心不全に対しプロモクリプチンが著効した1例

(心臓47巻3号382-388)

優秀賞:

寒河江 優美子

(横浜市立大学循環器腎臓内科学)

原発性冠動脈解離の臨床像

(心臓47巻6号690-699)

3. 日本循環器学会地方会

(1) 第113回北海道地方会

会期: 2015年6月27日(土)

会場: 北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長: 三浦 哲嗣(札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)

参加人数: 297名

発表演題: 47題

(2) 第114回北海道地方会

会期: 2015年11月28日(土)

会場: 北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長: 長谷部 直幸(旭川医科大学内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学分野)

参加人数: 268名

発表演題: 42題

(3) 第160回東北地方会

会期: 2015年6月6日(土)

会場: 盛岡地域交流センター マリオス(盛岡市)

会長: 伊藤 宏(秋田大学大学院循環器内科学 呼吸器内科学)

参加人数: 263名

発表演題: 65題

(4) 第161回東北地方会

会期: 2015年12月5日(土)

会場: 仙台国際センター(仙台市)

会長: 久保田 功(山形大学医学部内科学第一講座)

参加人数: 321名

発表演題: 81題

(5) 第236回関東甲信越地方会

会期: 2015年6月20日(土)

会場: ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長: 原田 和昌(東京都健康長寿医療センター)

参加人数: 1052名

発表演題: 112題

(6) 第237回関東甲信越地方会

会期: 2015年9月26日(土)

会場: ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長: 荻尾 七臣(自治医科大学循環器内科)

参加人数: 922名

発表演題: 94題

(7) 第238回関東甲信越地方会

会期: 2015年12月5日(土)

会場: ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長: 高山 守正(榊原記念病院循環器内科)

参加人数: 1025名

発表演題: 111題

(8) 第239回関東甲信越地方会

会期: 2016年2月6日(土)

会場: ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長: 山下 武志(心臓血管研究所付属病院)

参加人数: 969名

発表演題: 102題

(9) 第145回東海地方会

- 会期：2015年6月13日(土)
 会場：名古屋国際会議場(名古屋市)
 会長：大手 信之(名古屋市立大学大学院
 心臓・腎高血圧内科学)
- 参加人数：630名
 発表演題：141題
- (10) 第130回北陸地方会
 会期：2015年7月12日(日)
 会場：福井商工会議所(福井市)
 会長：水野 清雄(福井心臓血圧センター
 福井循環器病院 副院長)
- 参加人数：224名
 発表演題：54題
- (11) 第146回東海・第131回北陸合同地方会
 会期：2015年10月24日(土)
 会場：名古屋ルーセントタワー(名古屋市)
 会長：尾崎 行男(藤田保健衛生大学 循環器
 内科)
- 参加人数：804名
 発表演題：182題
- (12) 第119回近畿地方会
 会期：2015年6月20日(土)
 会場：大阪国際会議場(大阪市)
 会長：北風 政史(国立循環器病研究センタ
 ー 臨床研究部・心臓血管
 内科)
- 参加人数：1159名
 発表演題：258題
- (13) 第120回近畿地方会
 会期：2015年11月28日(土)
 会場：ナレッジキャピタルコングレコンベン
 ションセンター(大阪市)
 会長：石坂 信和(大阪医科大学内科学III教
 室(第三内科)・循環器内
 科)
- 参加人数：1271名
 発表演題：287題
- (14) 第107回中国地方会
 会期：2015年11月28日(土)
 会場：アステールプラザ(広島市)
 会長：東 幸仁(広島大学原爆放射線医科学研
 究所ゲノム障害病理研究分野
 再生医科学部門)
- 参加人数：507名
 発表演題：154題
- (15) 第107回四国地方会
 会期：2015年11月14日(土)
 会場：高知県立県民文化ホール(高知市)
 会長：北岡 裕章(高知大学老年病・循環器・
 神経内科学)
- 参加人数：348名
 発表演題：104題
- (16) 第106回中国・四国合同地方会

- 会期：2015年6月19日(金)
 会場：松山市総合コミュニティセンター
 (松山市)
 会長：泉谷 裕則(愛媛大学大学院
 心臓血管・呼吸器外科学)
- 参加人数：652名
 発表演題：231題
- (17) 第118回九州地方会
 会期：2015年6月27日(土)
 会場：アクロス福岡(福岡市)
 会長：浦田 秀則(福岡大学筑紫病院循環器
 内科)
- 参加人数：807名
 発表演題：130題
- (18) 第119回九州地方会
 会期：2015年12月5日(土)
 会場：アクロス福岡(福岡市)
 会長：上野 高史(久留米大学病院循環器病
 センター)
- 参加人数：769名
 発表演題：146題

②学会学術誌、その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal刊行

- (1) Circ. J. Vol.79 2015年は12冊2,786頁、平均発行部数約17,300部、原著投稿論文を含む315件2,716頁(97%)、その他70頁(3%)を掲載した。
- (2) 2015年の投稿論文は、受付1,406件(内有効論文1376件)、内2016年5月23日現在までの採用は224件、不採用861件、採択率は21%であった。査読にはEditorial Boardを含め822名(12号掲載)がその任務にあたった。
- (3) 2016年の投稿論文は、2016年5月23日現在までの受付501件(内有効論文492件)であった。

2. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について、会員及び関係学会からの意見を踏まえ検討した。本会ホームページに掲載されている用語集について、スマートフォンの画面で閲覧しやすいよう対応を行った。また、WHO・厚生労働省から依頼を受けているICD-11作成作業について委員派遣を行った。

3. 会告刊行

会告2015 No.1～No.6を発行した。

4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」を運営した。

5. 学会ニューズメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニューズメール「JCS News Letter」を配信した。

③学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する2,544施設に調査依頼を行い、Web登録システムを用いて調査を行い、1,506施設から回答を得た。調査対象期間は2014年1月～12月の1年間で、循環器研修施設および循環器関連施設から100%の回答を得ることができた。

2. DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業(JROAD-DPC)

JROAD参加施設の中から1,104施設を抽出し、DPC情報提供に関する参加意向をつのり、DPC情報の提供に同意した634施設よりデータ収集を行った。

3. 学術研究班

- (1) 心臓移植に関する提言(班長：磯部 光章)
- (2) 心臓サルコイドーシスの診療ガイドライン(班長：寺崎 文生)
- (3) 学校心臓検診のガイドライン(日本循環器学会・日本小児循環器学会との2学会合同作成)(班長：住友 直方)
- (4) 血管炎症候群の診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長：磯部 光章)
- (5) 成人先天性心疾患診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長：市田 路子)

4. ガイドライン作成

2013-2014年度活動の「循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン」(日本循環器学会、日本TDM学会合同ガイドライン)(青沼和隆班長/志賀剛班長)を冊子体とホームページ上で公開した。2014年度活動の「末梢閉塞性動脈疾患の治療ガイドライン(2015年改訂版)」(宮田哲郎班長)の改訂版をホームページで公開した。

5. ガイドライン作成と公開

第79回学術集会時に2つの「ガイドライン解説」、1つの「ステートメント解説」、1つの「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催した。

「ガイドライン解説」

- (1) 災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン(日本循環器学会・日本高血圧学会・日本心臓病学会合同ガイドライン)(班長：下川宏明、苅尾七臣、代田浩之)
- (2) 先天性心疾患、心臓大血管の構造的疾患(structural heart disease)に対するカテーテル治療ガイドライン(班長：中西敏雄)
- (3) 慢性肺動脈血拴塞栓症に対するballoon pulmonary angioplastyの適応と実施法に関するステートメント(班長：伊藤浩)

「ガイドラインに学ぶ」

- (1) 循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン(日本循環器学会、日本TDM学会合同ガイドライン)(班長：青沼和隆、志賀剛)
- (2) 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(2014年改訂版)(班長：許俊鋭)
- (3) 脳血管障害、慢性腎臓病、末梢血管障害を合併した心疾患の管理に関するガイドライン(2014年改訂版)(班長：伊藤貞嘉)

第80回学術集会時に1つの「ガイドライン解説」および1つの「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催した。

「ガイドライン解説」

- (1) 循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン(日本循環器学会、日本TDM学会合同ガイドライン)(班長：青沼和隆、志賀剛)

「ガイドラインに学ぶ」

- (2) 心臓移植に関する提言(班長：磯部光章)
- (3) 心臓サルコイドーシスの診療ガイドライン(班長：寺崎文生)
- (4) 学校心臓検診のガイドライン(班長：住友直方)
- (5) 末梢閉塞性動脈疾患の治療ガイドライン(班長：宮田哲郎)

6. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存のガイドラインのうち、次の2件を英訳化し、CJ誌に公表、ホームページ上で公開した。

- (1) 災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン(班長：下川 宏明生)
- (2) 肥大型心筋症の診療に関するガイドライン(2012年改訂版)(班長：土居 義典)

7. Translational Research振興事業

臨床応用・実用化にある最先端の基礎的研究やTranslational researchについて、我が国の先進医学研究に寄与することを目的に、以下1件の研究支援助成を行った。2013年度に採択した2件および2014年度に採択した2件についても研究支援助成を行った。本事業は2015年度をもって終了する。

- (1) 筒井 裕之(北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学)
ナチュラルキラーT細胞活性化による新たな重症心不全治療の実用化

8. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し、あるいは医師主導型臨床試験を支援する。

- (1) 心筋梗塞患者に対するエポエチンベータ投与による心機能改善効果に関する研究－Ⅱ (EPO-AMI-Ⅱ:主査 小室 一成)
- (2) 急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査 (J-MINUET:主査 石原 正治)
- (3) 周産期(産褥)心筋症の発症に関する登録研究 (PREACHER:主査 池田 智明)

9. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会が主導して行う心原性ショックに関するレジストリは、2014年6月に新規登録を締切り、レジストリ参加施設から組成した解析班において解析作業を行い、AHAおよび第80回学術集会において発表を行った。

10. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に以下1件の留学支援助成を行った。

文字 昭雄 (名古屋大学循環器内科学)
糖尿病性心筋症における心臓線維芽細胞の役割と、その分子メカニズム

11. 国内交流事業

第80回学術集会において、日本成人先天性心疾患学会、日本集中治療医学会、日本心臓核医学会、日本機械学会からのジョイントシンポジウム申し入れの要望を受理した。

④国際交流事業

1. 国際交流事業
 - (1) 海外学会(ESC・AHA)へブース出展を行った。
 - (2) 3名(Roberto Ferrari (Italy), Peter Ganz (USA), Huo Yong (China))の新規国際名誉会員の選定を行った。
2. 第79回学術集会開催時にAHA, ACC, CSC, KSC, ESCと共同シンポジウム(Meet the ESC1,2), アジアンセッションを開催した。
3. 第80回学術集会開催時にAHA, ACC, CSC, ESC, ASIAと共同シンポジウム(Meet the ESC 1,2)を開催した。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

①循環器専門医事業

1. 循環器専門医事業

- (1) 循環器専門医認定のための第26回循環器専門医

試験を2015年8月23日(日)東京ファッションタウンビル(東京)、梅田スカイビル(大阪)の2会場で開催した。認定者は494名(2016年4月1日認定)。

- (2) 2016年4月1日に循環器専門医資格を更新予定の循環器専門医2,309名の認定更新(2016年4月1日更新)が承認された。
- (3) 循環器専門医・専門医を目指す会員の臨床研修のための研修施設・研修関連施設の指定および指定更新審査を行った。新たに研修17施設、研修関連25施設を指定し、更新は研修580施設、研修関連152施設を指定した。
- (4) 専門医編集委員会から、『循環器専門医』Vol.23 No.2, Vol.24 No.1を出版した。Vol.23No.2は特集「第79回日本循環器学会学術集会」、Vol.24 No.1は特集I「基礎科学の進歩」特集II「第79回日本循環器学会学術集会」

※(2)の更新者に関しては、2016年3月開催の第80回学術集会が更新対象単位となっているため一部審査中となり2016年3月28日現在を記載していますことをご了承ください。

②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第11回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの企画・開催

2015年7月12日(日)大手町サンケイプラザにて、主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー、ディベート、グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催した。

2. 教育研修用DVDの製作・販売

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として「第43回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行った。

3. 教育研修用e-ラーニングシステムの構築

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として教育研修e-ラーニングコンテンツの拡充ならびにメンテナンスを行った。

4. 第1回臨床研究デザインと統計解析合宿の企画・開催

新たな教育研修企画として2015年11月19日(木)～21日(土)軽井沢にて、会員を対象とした2泊3日の研修合宿を開催した。研修では講義の他、グループワークや研究成果の報告等も行われた。

5. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催した。

- (1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース
- (2) AHA ACLSプロバイダーコース

(3) AHA ACLS-EPプロバイダーコース

(4) AHAハートセイバーAEDコース

受講者募集活性化のため、BLS受講対象者を原則として医療に従事している方、医学教育に係わっている方、医歯薬学生、看護学生などに拡大した。また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催した。

(1) AHA コアインストラクターコース

(2) AHA BLSインストラクターコース

(3) AHA ACLSインストラクターコース

(4) AHAハートセイバーインストラクターコース

(5) AHA ACLS EPインストラクターコース
ガイドライン2015に対応する変更点をインストラクター向けに解説するロールアウトを各地で実施した。

6. コメディカルセミナーの開催

循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、第9回・第10回のコメディカルセミナーを開催した。

(1) 第9回コメディカルセミナー

日時：2015年8月15日(土) 10:00-17:00

会場：大阪国際会議場(大阪市)

テーマ：「心電図からみる心血管疾患
－迅速、正確な読み方－」

(2) 第10回コメディカルセミナー

日時：2015年8月22日(土) 10:00-17:30

会場：ベルサール新宿セントラルパーク(新宿区)

テーマ：「心電図からみる心血管疾患
－迅速、正確な読み方－」

7. 男女共同参画に関する事業

(1) 第7回男女共同参画委員会セミナー「女性医師の就労支援のためにできること—多彩なキャリアパスの可能性—」を2015年6月20日に第119回近畿地方会(大阪国際会議場)で開催した。

(2) 第8回男女共同参画委員会セミナー「次世代のための男女共同参画—日本人に馴染むGender equalityとは—」を2015年12月5日に第161回東北地方会(仙台国際センター)で開催した。

(3) 学術集会一般演題における女性座長について、第80回では12.6%となった。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

①心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植等に関する事業

(1) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出した。

(2) 心臓移植の適応について、新規申請、再申請の

検討を行った。

(3) 心臓移植において基準を満たしたと認定した施設については、自施設内で適応判定ができるシステムを構築し、5月1日より運用開始した。

(4) 第79回、第80回学術集会会期中に医師及びコメディカル向けに移植医療の現状報告、心臓移植のチーム医療について心臓移植セミナーを行った。

(5) 医師及びコメディカルに向けて、普及啓発を目的とし、教育研修委員会主催の教育セッションにおいて心臓移植をテーマにした内容で開催頂くよう要望書を提出し、第44回循環器教育セッションにおいて開催した。

(6) 心臓移植について一般市民に理解を深めてもらうため2015年7月25日に市民公開講座を開催した。

(7) 日本の心臓移植の状況を世界に発信していくため、Circulation Journalにアニュアルレポートを投稿した。

(8) 心臓移植実施施設認定について3施設から申請があり、心臓移植関連学会協議会において審議を行っている。

②社会への広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを開催。2015年度は以下のテーマで10回開催した。(2014年度からの継続事業)

第8回 重症心不全、心移植

第9回 カテーテルインターベンションの進歩と展望

第10回 心臓弁膜症の最新治療

第11回 先天性心臓病の一生を診る。
進学、就業、妊娠、出産

第12回 活躍の場を広げる循環器看護師：
循環器診療の新たな担い手として

第13回 心不全から命を守る 2

第14回 大動脈疾患(大動脈解離を中心に)

第15回 不整脈デバイス治療の現況と未来

第16回 全身の動脈硬化を包括的に診る

第17回 血管新生治療の現状と展望

第8回以降、新聞への掲載、雑誌にて連載された。

2. 学術集会プレスカンファレンス

第80回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する会合として、東京・仙台でプレスカンファレンスを開催した。

3. 禁煙ガイドブックの販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイドPassport to Stop Smoking」の販売をおこなった。

4. 第80回学術集会期間中に、禁煙推進・心肺蘇生法に関する合同の市民公開講座を開催した。

5. 市民向けイベントにブース出展を行い、禁煙相談会を行った。

6. 心肺蘇生法に関する事業としてファミリー&フレンズコース(市民向け講習会)を計17回開催した。

7. 学会ホームページの運営

学会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載した。

8. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行った。

9. 医療安全に関する事業

医師推薦依頼および医療事故調査制度に対応した。

10. 医療倫理に関する事業

不正論文などの問題について対応を検討した。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 代議員選挙の実施

2016年度から就任する社員を選出するため、代議員選挙を実施し、283名の次期社員を選出した。

2. 新会員管理システム・症例登録システムの検討

新専門医制度対応としての新会員管理システムの検討、並びに症例のデータベース化を目的とした症例登録システムを構築することが決定された。

Circulation Journal Vol. 79刊行状況(編集委員会)

	論文数	頁数	その他頁数	頁数計
No. 1	27	223	1	224
2	27	223	1	224
3	26	223	1	224
4	27	227	1	228
5	28	238	0	238
6	27	257	1	258
7	28	247	1	248
8	26	213	1	214
9	25	219	1	220
10	25	206	0	206
11	25	237	1	238
12	24	203	61	264
計	315	2716	70	2786

『第80回学術集会抄録CD (Vol.80 Supplement I)』刊行状況(学術集会)

	一般演題採択数	抄録掲載数
計	2,308	3,011

『循環器専門医』刊行状況(専門医制度委員会)

	本文頁数	専門医News頁数	頁数計
Vol. 23 No.2	150	18	168
Vol. 24 No.1	170	18	188
計	320	36	356

『循環器ガイドシリーズ 2015年版』刊行状況 (ガイドライン委員会)

	オリジナル版頁数	ダイジェスト版頁数	頁数計
循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン	52	35	87
計	52	35	87

2015年度事業報告 附属明細書

2015年度事業報告においては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

(附属明細書記載事項ではないが、事業報告の内容を補足する事項として、以下付記する。)

「年次学術集会」について、第79回と第80回が記載されている理由

第79回学術集会(JCS2015)は2015年4月24日(金)～26日(日)に開催した。また、第80回学術集会(JCS2016)は2016年3月18日(金)～20日(日)に開催した。

本会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの期間である(定款第41条)。よって、第79回学術集会と第80回学術集会のいずれも「2015年度内での事業」となるため、2015年度事業報告として2回分を記載するものである。

以上